

血液内科

【実習目標】

一般目標:

的な血液疾患を対象として、患者に発生している問題を正確に情報収集して、的確な言葉で記録するとともに、収集した情報を論理的に吟味し、適切な医学的判断を行うための基礎となる能力を身につけることを目標とします。血液疾患の診断・治療の基礎となる知識と技術を学び、輸血療法の基礎的知識と輸血の適応を学びます。

行動目標:

1. 患者に発生している問題を正確に収集するために適切な問診を行うことができる
2. 患者に発生している問題を正確に収集するために適切な身体診察を行うことができる
3. 患者の検査結果を適切に判断する
4. 患者に発生している問題を正確に理解し、問題点を要約して発表することができる
5. 収集した情報を論理的に吟味し、患者の診療方針決定のための医学的判断に結びつける方法を学ぶ
6. 代表的造血器腫瘍(白血病・リンパ腫・骨髄腫)の病理学的・細胞学的・分子生物学的な診断法を理解する
7. 代表的造血器腫瘍の標準的治療法と支持療法について概略を述べるができる
8. 代表的な出血性疾患・血栓性疾患の診断法と治療法を理解する
9. 代表的な血液製剤の使用法、輸血療法の適応、輸血合併症への適切な対応法について理解する
10. 易感染性宿主に発生する感染症の診断法と治療法を理解する

実習要領:

1. 患者の受け持ち(病棟)
 - ・原則として学生1名に対して1名の担当患者を割り当てます(月曜)
 - ・入院症例カンファレンスの際に担当患者の経過についてのプレゼンテーションを行います(火曜)
 - ・指導医、もしくは担当医・研修医と共に実際の検査・病状説明・治療などの診療プロセスに積極的に参加して下さい(当日の担当患者の予定を指導医に毎日確認すること)
 - ・担当患者の病状を十分に把握し、診療経過をPOMRの形式でレポートに記載して下さい。
 - ・説明と同意、病名告知、守秘義務などについて熟知し、患者・家族の立場を十分に配慮して接することができるように心がけて下さい。
2. 輸血実習
 - ・演習症例を通して、ガイドラインに準拠した輸血療法の適応・輸血合併症への対応法を学習します。
 - ・輸血実施にあたって必要な説明と同意の取得について、ロールプレイングの方法で学習します。
 - ・臨床現場で行われている輸血検査を実際に経験し、結果の解釈法を学習します。
3. 評価方法
 - ・担当症例の病態と病歴の理解、プロブレムの抽出とアセスメント、行われた医学的介入の理解、診療計画全体の理解、診療プロセスへの参加姿勢を各項目4段階(不可=1, 要努力=2, 可=3, 良=4)で総合的に評価します(合計100点)。

実習担当教員:

一戸 辰夫	教授	原医研(血液内科)			
福島 伯泰	准教授	原医研(血液内科)	藤井 輝久	准教授	病院(輸血部)
三原 圭一朗	講師	病院(血液内科)	名越 久朗	診療講師	病院(血液内科)
川瀬 孝和	助教	原医研(血液内科)	森岡 健彦	助教	病院(血液内科)
山崎 尚也	助教	病院(輸血部)	杉原 清香	助教	原医研(資料調査解析部)
教室連絡先	257-5861	(秘書室: 二宮 ninomiya@hiroshima-u.ac.jp)			

【実習内容】

	9:00-12:00	12:00-13:00	13:30-16:30	
月曜	9:00～オリエンテーション 担当患者割当	昼休み	病棟実習	
火曜	9:00～入院症例カンファレンス	昼休み	ミニレクチャー	15:00～輸血検査実習 /HIVカンファレンス
水曜	輸血療法ケーススタディ・輸血イン フォームドコンセント実習	昼休み	輸血インフォームコンセ ント実習	14:30～病棟実習
木曜	学外病院実習			
金曜	病棟実習	昼休み	病棟実習	15:30～まとめと評価

【場所】

月曜 午前:原医研1階103号室(医局図書室) 午後:9階西病棟

火曜 午前・午後とも9階西病棟カンファレンス室 15時～検査部

水曜 午前・午後とも臨床管理棟2階201号室

木曜 広島西医療センター(10時集合)

金曜 午前:9階西病棟 午後:9階西病棟 15時30分～原医研1階103号室

実習日が祭日の場合、変更があります(オリエンテーション時に説明あり)

【注意事項】

- ① 守秘義務に留意し、ベッドサイドでの言動には細心の注意を払って下さい。
- ② 実習期間中の問診・診察は担当患者さんの了承を得た上で積極的に実施して下さい。
- ③ カンファレンスやレクチャーの際には、積極的に質問や討論することを心がけて下さい。
- ④ カリキュラムの関係上、欠席者への補習はありません。特別の事情のある場合にはレポートで評価します。